



蒲郡地区の紹介

老人クラブの活性化で
《まちづくり》を

蒲郡第2栄宝会 会長 大向 正義

クラブ名	会員数	クラブ名	会員数
第1栄宝会	60	第6栄宝会	62
第2栄宝会	50	第7栄宝会	45
第3栄宝会	51	第8栄宝会	50
第5栄宝会	71		

皆様もご存知のように、蒲郡市の高齢化率は約25%で、新城市について県下2番目です。今後、団塊の世代が高齢者になっていくので、ますます高齢化率は、高くなっていくと考えられます。昨年4月に蒲郡栄宝会 会長に就任して以来、「元気で、楽しく、そして社会貢献を」というモットーで1年間活動してきました。大きな課題である、老人クラブの高齢化や会員数の減少を解消するためには、老人クラブ自身が、少しずつ変らなければなりません。「蒲郡栄宝会」は、昨年9月に「閉じこもり防止事業」として《地域の茶の間》を中部市民センターで開催し、80名を超える高齢者の方が出席されました。お茶やお菓子を食べながら、音楽劇を見たり、皆で歌ったりする楽しい《高齢者の居場所づくり》です。音楽劇、大型紙芝居、歌声喫茶、健康体操等々を行いました。歌声ボランティア「ハーモニィ」と「蒲郡地域の茶の会」との協力で開催できました。出席者は『ほんとうに楽しかった。またしてほしい。』と言っていました。今年度は、年に数回開催したいと考えています。これからの老人クラブは、地域はもとより、NPOやボランティア団体とも協働して、色々な事業をしていく必要があると思います。出来れば民間企業とも連携して「協働の《まちづくり》」が出来れば最高です。蒲郡市の将来は、老人クラブが握っています。「蒲郡栄宝会」は、老人クラブの活性化を通して《まちづくり》をしていきます。



小江地区の紹介

クラブの活動について

喜老会 会長 杉田 実

クラブ名	会員数	クラブ名	会員数
小江第一寿会	83	小江第二寿会	71
喜老会	62		

小江地区老人クラブの本年度会員数は、前年より15人減少の216人です。3クラブとも新規会員より退会が上回ったようです。老人クラブの運営は、会費収入、市補助金等で賄われているが、小江地区の場合全体に収入が少ない。従って、市の補助事業についても有効に活用させていただいている。また補助金事業にとどまらず、市老連や市の関連事業も、高齢者にとって有意義な事業が多い。先日、市体育センターで開催された自転車大会に出場された女性の方が、「技術的には皆上手で周囲に圧倒されましたが、交通ルールをしっかりと体験することが出来てよかった。順番を待っている間も、適度な緊張感を持ち、学習することが出来ました。今後の自転車の交通安全に役立ちます。」と前向きな感想をいただいた。また、最近では市老連の健康ウォーキングの人气が高まってきたようで、小江地区の毎月の行事案内に、今回は「蒲郡コース」とか「〇〇コース」という情報を案内すると、素早く申し込みがある。単なる健康指向だけではなく、ウォーキングに魅せられる何かあるのかもしれない。まだこの他にも、市老連関係は興味深い事業がたくさんあります。地元のふれあい事業についても、昨年久しぶりに再開した地元の親睦会が好評でしたので、それを受けて今年は、三谷温泉明山荘で天然温泉と昼食プランを要望に応じて実施しました。年に一度の地元会員同士の楽しい集いは、さらに親睦を深めました。このように市老連も各地区のクラブも高齢者にとって親しみやすい事業を行っています。常時、新規会員の門戸を開放していますので、気軽に入会をお勧めします。